



# 営農サポート通信 第18号

平成25年7月 JA都城：営農サポーター（TAC）



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

## 『抑草剤』を使ってみませんか？

水田の畦や農道の草刈り後に散布することで、雑草の成長を抑えることができ、草刈の回数軽減が期待できます。

### ★グラスショート液剤★ (500ml)

使用方法は、薬剤100mlを水20Lにうすめ(200倍)、畦払いの後、草が少し伸びてきた頃に(約10日後・10cm程度)散布します。

※**稲に直接かからないように**注意して下さい。

(稲に対しては、比較的安全性は高いですが、幼穂形成期から乳熟期の稲に飛散すると、出穂やもみに影響があるので、飛散防止ノズルを使用して下さい。)



## 水稲防除について

今年も無人ヘリ防除が始まります。1回目は出穂前(7月下旬)。2回目は出穂後(8月下旬)に散布が予定されています。別紙の留意事項をお読み下さい。

「**稲こうじ病**」の防除対策にも、発生が心配される水田では防除を心掛けてください。

なお、各農産センターでは、今年から「**糶クリーナー・石抜機**」を導入しました。この機械は、糶摺り前に木片、ワラ、小石、稲こうじなどの異物を除去する装置です。各農産センターのご利用をお知らせいたします。

## 水稲除草剤情報

やっかいな「**キシウスズメノヒエ**」(ごそごそ)や、「**ノヒエ**」の対策に!

### ★**クインチャー1**キロ粒剤★ (1kg)

ノヒエ4葉期まで

- ・10a 当たり 1 kg 散布。
- ・田植え7日後から使えます。(収穫30日前まで)

### ★**クインチャーバス ME** 液剤★ (500ml)

ノヒエ5葉期まで

- ・10a 当たり本剤 1,000ml を、水 70~100L に混ぜ、落水又はごく浅水にして散布。
- ・『ユガヤ』、『一年生雑草』にも効果あり!
- ・田植え 15 日後から使えます。(収穫 50 日前まで)

### ★**クインチャーEW**★ (100ml)

ノヒエ6葉期まで

- ・10a 当たり本剤 100ml を、水 25~100L に混ぜ散布。
- ・田植え 20 日後から使えます。(収穫 30 日前まで)



ご存知でしたか?  
ヒエの仲間です!

キシウスズメノヒエ(ごそごそ)



## 除草剤飛散(ドリフト)防止について

水田畦畔で茎葉除草剤を使用し、畦から近いところの稲に薬剤が飛散し、稲が枯れる被害が出ていますので注意して散布をしましょう。

- ①飛散を防止するカバー付ノズルを使用する。
- ②防除機具の散布圧力を上げすぎない。
- ③散布の時間帯は、風の弱い早朝か夕方とする。

## 原料用かんしょ生産者の皆さまへ

ここ数年、つる割れ病の発生が多くなっており、多発している圃場では収穫量が激減しています。

つる割れ病は種芋伝染・苗伝染・土壌伝染をするため、防除が困難な病気の一つであり、防除対策を打たないと今後急速に被害が拡大します。

今は被害が出ていない圃場でも病原菌の密度は毎年増え続け、今後必ず発病が予測されます。被害が軽微なうちから対策を必ず行うようにして下さい。(D-D処理では全く効果がありません)

先般、農産課と振興局(普及センター)から示された、対策を行いましょう。

まずは、身近な育苗床から、土壌を汚染させないよう、「種芋」は残さず持ち出してください。

## 契約人参のご案内

先月、冬場に収穫できる作物として、『契約にんじん』の話題を提供しましたが、今回は、期待される収支状況と昨年の実績を記載して、別紙のサポート情報を作成しました。ご検討してみてください。

## ご存知でしたか? 「**資材の予約奨励措置**」知っていると、大変お得ですよ

### ◆**予約購入**◆

肥料、農薬、資材を予約購入すると、肥料については、当用価格より値引きします(一袋当たり)。農薬・資材は、当用価格より値引きされます。

### ◆**大口奨励金**◆

予約購入金額が年間50万円以上になると、年度末に奨励金をお支払いします。(条件: 1/1~12/31迄の分を、取引金額に応じたランク別措置で2月にお支払い)

### ◆**直送**◆

配送センターを通さず直接、農家宅へ運びますので、安く供給出来ます。(取扱い数量などをご相談させていただきます。大口奨励金との重複は出来ません)

### ◆**その他、お見積りも承ります。お気軽にサポーターにご相談下さい**◆

(文書取扱: JA都城 営農企画室) 事務所の電話番号は 38-6693 です